

科目名称	医療現場で使う英語Ⅱ（医療英語）	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 前期	1	30
担当教員	高久保 文恵	授業に関わる 実務経験	☐ 有（ ） ☒ 無	

【1】授業概要

看護師として国際社会に対応できる英語力を修得することを学習目標とし、重要医療英語の修得と、1学年で修得した英語コミュニケーションスキルを基礎に、医療用語を適切に用いた英語発信（発話、英作文などの表現）能力の向上を図る。特に頻度が高い循環器、呼吸器、消化器分野の英語に焦点を当てる。

【2】学習目標

1. カルテなどで頻用される重要医療用語が理解でき、語彙力を向上させる。
2. 1学年で修得した英語コミュニケーションスキルをもとに、1で修得した医療用語を適切に使用して英語が発信できる。
3. 症例などに関する英文を読み、内容が理解できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☒ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- ☒ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- ☐ 3. 地域の特性を看護に生かす力
- ☐ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- ☒ 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	イントロダクション 身体の各部の名称	講義・実技
2	英語の医学用語(1)	講義・実技
3	英語の医療用語(2)	講義・実技
4	循環器系Ⅰ：読解	講義・実技
5	循環器系Ⅱ：語彙・理解	講義・実技
6	循環器系Ⅲ：発信	講義・実技
7	呼吸器系Ⅰ：読解	講義・実技
8	呼吸器系Ⅱ：語彙・理解	講義・実技
9	呼吸器系Ⅲ：発信	講義・実技
10	消化器系Ⅰ：読解	講義・実技
11	消化器系Ⅱ：語彙・理解	講義・実技
12	消化器系Ⅲ：発信	講義・実技
13	まとめと試験	講義・実技
14	実技試験の準備	講義・実技
15	実技試験	実技

【5】評価方法

筆記テスト:40%、実技テスト:40%、提出物:20%

【6】教科書

井上 真紀:Because We Care,Second Edition—English forHealthcare Professional(第2版) センゲージラーニング株式会社 2020

【7】参考書

授業中にプリントを配布

【8】受講生へのメッセージ

授業ではできるだけ多く発信し、ペアワークやグループワークに積極的に参加しましょう。必ず英和・和英辞書(電子辞書可、携帯・パソコン・タブレットは原則負荷)、可能ならば医学・看護用語辞書を毎回授業に持参し、自主的に語彙力アップに使用しましょう。